三池主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目　三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱　474・528
※責任者＝文教部長　川畑信子

粘り強くたたかう

決意を固める　主婦の投書特集

二八三日ぶりに夫たちは労働者としての誇りに胸を張り堂々と会社の門をくぐつた。ながく激しい闘争の中で、私たちは多くのものを学び教えられたが、スト解除、就労そしてまた明日からのあたらしいたたかいを前にして、夫とともに激しいたたかいをたたかい抜いてきた主婦たちのつぶやき、決意などさまざまな思いを、この号で特集してみました。

負けてはいない

港務日井分会　小川ふみ子

全国の動く仲間に守られ支援されて二百八十三日の闘いを闘つてきた私たちの闘争も、平和宣言によつて実質的には終りをつげて、生産再開にふみきりました。

私たちのきょうまでの闘いをふりかえつて、私はいまも会社に負けたとは思つていません。組合員と家族が一丸となつて、全国の働く仲間とともに闘つた力は会社を完全におしまくつていたと思うのです。

今日の、資本家だけを擁護する政策をバックに、すべてのマスコミ機関や国家権力の圧力によつて私たち労働者の連帯性がまだまだ弱いために、いちおう妥協せざるを得なかつたことがこんな終末をつげたと思つています。

私たちは子供のときから正しいことは正しいとして真摯ぐに歩く人間に教育されてきました。

そのために、修身も道徳教育もあつたものと思います。たとえどんな理由があるにしても、仲間を裏切り、敵を利するような行為がどんなに罪悪視されてきたか、数かずの歴史がおしえています。

その罪悪をあえておかした一部の指導者たちと、会社の分裂工作にひつかかつて第二組合をつくつた人たちを、いかに憎しやかにゴマかし、正当化しようとしても、それは単なるいいのがれにしかなりません。

第二組合の人たちは、自分たちなりに正しいと信じて行動したというかもしれません。一歩をゆずつてそれが正しいことだとしても平時のときであつたなら、いかなる行動も認め批判も結構でしようが、一方的な首切りは絶対に認めないという闘いの最中に仲間を裏切るということは、本来ならば絶対にゆるすことはできないはずです。

それを政府自身が国家権力を総動員して第二組合擁護の立場をとり、私たちの第一組合をいかにも暴力組合のような扱いかたをするということは、いまの日本政府の姿をはつきりとしめしています。

こうした矛盾だらけの社会を早くなくすことが私たちのしあわせのみちに通ずるものと思います。

いまこそ私たちは長い三池闘争と安保反対闘争の経験のなかから総選挙に勝ちぬき、正しいものを正しいものとして認めるような世の中をつくりあげることが私たちの重大な任務です。

ほんとうの闘いはいまからです三池の火はさらにもえつづけるでしよう。

最後の勝利をめざしてがんばりましよう。

心に誓つて

港務　島文枝

十月十日！　この日を私は永久に忘れることはできない。それは命をかけて闘いつづけた同志が堂々として働き、細々と積み重ねてきた汗と油の結晶の退職金を受け取らされる日になつてしまつたからだ。この日を来させないためにすべての闘いは組まれたし、また全国の仲間が共闘して下さつたのに。私たつて無我夢中でただただ千二百名の同志とともに職場に送り出す日を、切なるねがいをこめてガンバリ抜いたはずなのに、どうしてこんなことになつたのでしようか。言うも愚かですがほんとうに悲憤の涙がわきます。

雄々しく闘いつづけられた拒否者の顔の一つひとつを思う時胸はいつぱいになり、口惜しいでしようが、あと四、五年待つて下さいかならず仇を討ちましようね、と心の中で叫んでおります。私には何年かかるか分りませんが、とにかくがんばらねばならないのです

友人が弁当箱をしみじみとながめて「弁当をつめて送り出す日はいつ来るだろうか」と語つた拒否者の妻の心情を、胸の張りさける思いで聞き、一家の平和を無茶苦茶にかき回したクビ切りを徹底的に憎いと思つたしこの世から追放しなければ私たちは安心して生きて行くこともできないのだ。

今からの闘いは苦しいことのみ多いでしようが、負けられない武器を手に闘いを、ねばり強く築ねて行かなければならないことを、この日にあたつて深く心に誓う。

× ×

選挙に思う

臼井社宅　一主婦

来る十一月二十四日は衆議員の総選挙が行なわれます。自民党政府は、安保を改定し再び国民を戦争においやり不安と貧困におとしいれようとしております。資本家は合理化の名のもとに、労働者を首切り、団結権を奪い労働者を悲しみ苦しませました。私たちはこの憎しみを生涯忘れることはできません。

彼らはこのあとも二度、三度と追討ちをかけてくるでしよう。もう失業者を出すのは私たちでたくさんです。だれ一人として首切りのない明るい社会を望まない人はないでしよう。母親として明日の子供の生命を守るために、私たち一人ひとりがめざめ、一人でも多くの革新議員を国会におくることが、明日の「しあわせ」をかちとる唯一の道だと思います。

こんどの選挙には、義理人情にまどわされない正しい一票を投じたいと思います。

前進と団結を信じる

四山　古沢富美子

秋ふかき十一月一日、三井鉱山のロック・アウト解除と同時に、無期限ストライキを中止することになりました。したがつて二百八十二日におよぶ三池争議も一応幕をとじることになります。

私たちの闘いは、会社にひとかけらの石炭も出炭させなかつたホッパーの攻防を中心に、長期にわたる激しい闘いをかえりみますと、まことに感慨ふかいものがあります。

一・二〇〇名の指名解雇、あまりにも強引な資本家の弾圧、さらに久保さんに対する無惨なあの迫害にたいしては激しい憎しみと怒りとなり「三池の火を全国に」という合言葉を生みました。また、全労働者の支援と共闘への感激はいまさらながら走馬燈のように目前に展開されます。

私たちは、この闘いを拒否者とともに勝利をもつて終らすことができなかつたことは、ほんとうに残念でたまりません。

私たちが限りない家族ぐるみの団結の力をもちながら、組織的な欠陥もありましようが、労働者階級全体にしつかりと態勢ができなかつたことは、反省しなければならないと思います。

しかし、私たちは決して敗北感は持ちません。ほんとに耐えがたいものがありますが闘いはいまから始まるのです。

十一月二日午前九時、私たち第一組合員は主婦会の拍手のあらしの中を、久保さんの遺影を先頭に四山正門へと堂々と入構いたしました。

組合員の元気な明るい顔……。平常にかわらぬたくましい姿……。主婦会の一人ひとりが「がんばつてください」と肩をたたけば、無言でうなづくいとしい夫たちのスクラムを組んだ笑顔は、長い闘争の疲れもなく、その正しさを物語るでしよう。拒否者を交じえての一人ひとりの心ゆくまでの友和的な感激は、何んだか胸せまるものがありました。

この歴史的大闘争の過去の経験を十分に生かし、こんどの闘いへの前進と団結は未来を守ることでしよう。

二八二日をふり返つて

本所　一主婦

つてまいりました。

二十八年の炭婦協結成のときも苦しい思い出があります。こんど組合員の多数の脱落、主婦会員の脱退と人の心の頼りなさを感じ、また自分の力のなさ、不勉強さをひしひしと感じました。でも、一方においてはこの闘いがなかつたら、あうこともなくその一生を終えたであろう、北は北海道、南は鹿児島の方々と、人間としての心のふれあいは、働く私たちの大きな前進ではないでしようか。

資本主義の日本の現状を打ちやぶるためには、皆んなの意識を高め、より以上の協力がなければならないことも、今度の闘いを通じてわかりました。三池の闘いも、あつせん案で一応終止符はうつた形ですが、会社がこのまま引き退るとも考えられません。

今までより以上の強い意志をもつて主人たちを職場に送らねばならないと思います。

配転などで新しい職場に行き、精神的に、肉体的に苦労があるだろう主人たちを、暖かく送り迎えいままで経験した一万円生活を生かし、よりよく家庭を守り闘う意欲を主人たちにもたせ、子供たちのよき相談相手となつて行きたいと決意致しております。

明日の幸を信じて……。

二八二日をふり返つて

本所　本村理子

組合員、主婦会員、家族とよくこれまでがんばつて来た。全国の働らく人たち、世界の人たちの支援に包まれて闘争ができたことを深く感謝致します。

組合員もさることながら、主婦会員の働きは偉大なものだつたと思う。それを支えてくれた老人、子供の協力は感謝にたえない。

二八二日をふり返つて、たんねんに集めた三池のスクラップをひもといて見た。製作所脱落、指名解雇通告、ロックアウト、第二組合結成といろいろなことが続いた一家を背負う組合員にとつては、心の迷いの多い時期だつたと思う夫を留め得たのは多くの働く仲間のみなさんのおかげだといまも感謝している。

三月二十八日の三川乱闘事件公判は四月十五日にひらかれ、私は池田さん外三名の裁判の模様を傍聴し、一言半句ももらすまいと手帳に書きとめた。

裁判官は、第一組合がコ・ショウを投げ、こん棒で打つたと認定している。私たちに毛ぎらいされる商業新聞でさえ、コ・ショウの目つぶしがピケ隊に飛ぶと書いていた会社、裁判所、検事が手をくんでいるということが傍聴人にはよくわかつた。

総評弁護団の努力には力強い心の支えを感じた。

久保さん刺殺事件で、コロシ屋の集まりともいうべき暴力団のパレードに、警察はどのような処置をしたか。組合員の護身の棒は取り上げ、暴力団のこん棒をつんだトラックは通行させている。

献身的な写真班員の活動がなかつたら、はたして犯人は逮捕できたであろうか。菊川は第二組合とは関係ないといつているが新聞には「第二組合の幹部が代表者格の家に入るのを見た」と書いてある

政府とのつながりは、四月六日岸前首相が「新組合員の就労には警察力で就労の権利を保護していく考えだ」といつている。

PRのはげしい新聞でもみすてているとだまされやすいが、スクラップにして、いろいろの資料とみくらべてみると社会の無臭ができる。

闘争が激しくなるにつれ、夫の身を案じ、暴力団にたいするときは刃物の通らない雑誌をつづつた胴着を、警官に対するときは竹入りの胴着をつくつて安全を祈つたものだつた。

オルグさんの炊事に、主婦会が助けあつて汗を流したたのしい想い出は一生忘れることができないだろう。残念にも一・二〇〇名の首を守ることはできなかつたが、就職決定、第二組合を解散させるまでは団結力をおしすすめていかなければならない。

十一月一日、総決起大会の席上向坂先生は「労働者の力は団結にある。諸君はいまこそその力をしめしている。負けたわけではない」といわれた。

三池の主婦会員は十年の進歩をしたといわれている。私にはこの永い闘争によつて、社会に対する大きな目がひらけたことはひとつの収穫であつた。

私たちの手で灯を

四山　武内民子

十一月三日…。この日を私は忘れることができません。ハチマキをかたくしめた夫たちのいつせい就労の日です。それをみおくるオルグ、拒否者と私たち主婦会……

入鉱の列は、そのなかを堂どうとスクラムを組み、労働者としての誇りにみちたあかるい顔で通りすぎます。まだこんなに志をひとつにする多くの人たちが闘つているのだということを目の前にみて心づよく感じました。

そしてその顔がどの顔をみてもつくりごとでない、明るい顔をしているのをみると、ほんとうに力をもつたたくましい労働者の顔をそこに発見するとともに、それに負けない表情で私たちといつしよにみおくりの立場にある拒否者の人びとの心を思うと〃どんなにくやしい気持であつたろう〃と思いました。

いままで一生懸命働いてきた職場から、一片の紙きれで追われ、ともに入鉱できないとは!!

何をどうしたから俺の首を切らねばならないのか!!

正義の闘いが、正義の主張がとうらぬとは、いままでの歴史はいつたい何をおしえるというのでしようか。あまりにもむごいしうちです。

数十発のうちあげ花火とともに入鉱する夫たちをみおくりながらいままで闘われてきた、もちろんこんども闘われる〃三池の闘い〃が、いかに激しく、苦しく、一万円生活にもたえてきた私たちには導官のコンボウと資本家のあくどさとを、この目このからだで知ることができました。

総評・炭労はもちろん、全国の仲間のあたたかい支援をうけて闘われたこの闘いのなかで、きのうまではただ路傍の人だつたのが今日はおなじ目的にすすむ友であり家族であるということを知りえたのも大きな喜びのひとつであつたと思います。

思えば三月、第二組合ができました。そして久保さんが殺され、ホッパーの決戦、第二十七回炭労大会……と息もつかせぬ毎日でしたが、その反面全国の仲間と家族はお互いが話しあいの場をもつて労働者として、またその妻としてこんど何をなすべきかということをはつきりと知ることができたと思います。

日本が資本主義国家である以上、私たちの闘いはいつまでも続くと思います。続かせねばなりません闘いのはじめごろ、灯をともす会がいつていました。〃明るい灯をともすためにストはやめましよう〃と。

明るい灯をともすのは資本家やその手さきではなく、私たちが私たちの手によつてともすのです。お互いがしあわせになるためには一片の紙きれで路頭になげだされることのない社会にするためと、九百九十九名の人びとの完全就職と百六十九名の法廷闘争を勝ちとることだと思います。

こんどますます、働くものとその家族は心をひとつにして、あらゆる困難に負けぬようにがんばらねばならないと思います。

【編集部だより】皆さんから沢山の原稿を頂き、この号だけでは掲載しきれず、残りは次号にまわさせてもらいます。投稿された皆さんに御諒解を願います。

家庭療法あれこれ

▽…新興ハンラン時代ですが、ありあわせの材料で応急にまにあう家庭療法を知つておくと便利。

▽膿瘡、肺炎△玉ねぎ湿布＝みじんに刻んだ玉ねぎをフライパンで熱し、熱いのを布にのばして胸部に湿布する。湿布前に患部にメンソレータムをすり込むとなおよい

▽梅干の黒焼＝せきどめの妙薬。炭火の上で梅干をシンまで黒く焼き湯をそそいでのみます。また日本ねぎの白い部分を焼いて熱し、ガーゼに包んでのどに当てるのもよい。

▽ものもらい△木ぐしに油を塗つて火で熱し、ものもらいの上にあてる。化膿していてはだめだが、できはじめのころに二、三回くしでなでるとふきしによくなる。

▽やけど△桐の葉をもんであてるのもよく、みそをぬるのもよい。またじゃがいもを五ミリぐらいの薄切りにしたものをはりつけてもよい。

▽霜やけ△大根おろしをつける。くずれた場合にはチンク油に赤チンをまぜたものをつけるとよい。

▽ねんざ△酢と卵の黄味とメリケン粉を耳たぶくらいの柔かさに練つて、患部にはりつける。